

実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座

＜メインテーマ＞東日本大震災から学ぶ防災(減災)まちづくり

本講座は神奈川大学と「防災塾・だるま」が共同で企画し、提供するものです。

- ※「防災塾・だるま」とは「七転び八起き」からネーミングされました。あらゆる防災活動を通じて会員相互の防災力の向上を図るとともに、防災に関わる情報共有のためのネットワークを構築し、地域社会の防災まちづくりに貢献することを目的とした市民防災の活動グループです。
- ※この講座では、ほかの多くの防災セミナー等と重なる「救急法」や「防災資器材の取り扱い」は取り上げておりません。

防災まちづくりに地域で取り組んでいる方、市民の視点から地域防災に関心がある方のための講座です。東日本大震災の衝撃が今も続き、さらに首都圏直下型地震発生への切迫性も続いています。一方で、生活環境の変化や少子高齢化などによって近隣扶助意識の面などで地域防災力低下の懸念を指摘する声もあります。地域・市民が否応なしにやってくる危機と正面から向き合って、自分の住む地域でどう災害が起こりやすいか、災害の時にどんな対応ができるのか、復旧・復興に向けてどう行動すべきかといったイメージを持つこと、そして、行政に任せ切るのではなく、「自助・共助・公助」の基本に従って防災まちづくりに活かすことは、われわれ自身がなすべき責務と言えます。東日本大震災から学ぶこともたくさんあります。防災まちづくりを実践するコーディネーターを養成し、多様な生活環境を持った人と人との人的ネットワークによって地域防災力を高める力となることを目的として、今年度も講座を開催することとしました。2006年の第1回から教えて第6回目となります。

■総合司会：小原 茂

回	開講月日	担当講師	テーマ/概要
1	9/29 (木)	荻本 孝久 神奈川大学教授 防災塾・だるま塾長	講座をはじめめるにあたって 実践的防災まちづくりに東日本大震災から何を学ぶか、講座の目的の全体像を共有、東日本大震災の現地調査を踏まえて本講座の課題を提起する。
2	10/6 (木)	松山 順三 元神戸市職員、宮城県名取市で復興アドバイザーとして活動	阪神淡路での行政経験者が現地を見て対比して語る 東日本大震災での復旧・復興への支援活動で、阪神淡路での経験が具体的にどう活かされ、そこからどんな課題を見たかを、阪神淡路の経験と対比して語る。(終了後に交流会)
3	10/13 (木)	佐々木 義雄 岩手県山田町出身、横浜市緑区;まちづくりネットワーク緑 浦辺 利広 岩手県山田町で被災、横浜市に避難後在住	被災者の叫び！岩手県山田町からの報告 地域全体が失われる切迫した状況で何を考えてどう判断し行動したのか、なぜそうなったのか、講師自身の被災経験を率直に語ってもらい、教訓・課題を提起する。
4	10/20 (木)	植山 利昭 神奈川県・かながわ東日本大震災ボランティアステーション代表	被災地からのニーズと支援の実態;課題とあり方 被災地からのニーズは何か、支援はどう応えようとし、どんなギャップや課題があるのかを、実態を踏まえて分析し、これから先の支援のあり方を提言する。
5	10/27 (木)	森 清一 神奈川県秦野市;はだの災害ボランティアネットワーク副代表	クロスロード・ゲーム(全員が発言し主張する) 「クロスロード」=「岐路」でそれぞれが重要な判断を「YES」「NO」で表明するゲームを通じて体験し、災害時の“予め正解のない様々な状況や問題”にどう対処するかを学ぶ。
6	11/10 (木)	杉原 英和 神奈川県温泉地学研究所	行政の新たな役割と課題を分析紹介する 大災害と地震研究・対策を歴史に沿って対比し、東日本大震災で浮かび上がってきた長周期地震動、液状化、原子力災害などの新たな課題と行政の役割を分析紹介する。更に防災まちづくりに市民と行政が「協働」することの重要性を取り上げる。
7	11/17 (木)	上原美都男 危機管理アドバイザー、前横浜市危機管理監	防災まちづくりに行政の取り組みと課題を提言する 行政が防災まちづくりに果たしてきた役割と東日本大震災から新たに明らかになった課題に切り込み、大胆に提言する。
8	11/24 (木)	山口 章 横浜市緑区;白山地区連合自治会会長	防災まちづくりの実践活動を紹介する どのように実践的な活動を進めているのか、東日本大震災による新たな課題にどう取り組んでいるのかを紹介し、その中で市民と行政の協働のあり方を提起する。
9	12/1 (木)	小原 茂 横浜市磯子区;滝頭・磯子まちづくり協議会	ワークショップ(災害に備えての参加各人の考え方を述べ意見の交換をする) 自分の住む地域でどう災害が起こりやすいか、災害時にどんな対応ができるか、復旧・復興に向けてどう行動すべきかといった視点から、グループ討議する。 ※第9回のみ、横浜キャンパス1号館8階804会議室で行います。詳細は講座内でご案内します。
10	12/8 (木)	荻本 孝久 神奈川大学教授 防災塾・だるま塾長 池田 邦昭 横浜市緑区;まちづくりネットワーク緑	ワークショップの発表と講評・講座全体のまとめ ワークショップ(第9回)のまとめを各グループから発表し、主催者からの講評を受ける。最後に、講座修了書の授与を行い、実践的防災まちづくりコーディネーターの活動に向けて協働ネットワークづくりを目指す。(終了後に交流会)

【開講期間】9/29～12/8 木曜日 14:30～16:30 全10回

【受講料】5,000円 【定員】50名 【申込締切】9/15(木)

《留意事項》

- ※受講料には、資料代および消費税が含まれます。(第2回および第10回の講座終了後の交流会の費用は別途)
- ※申込みは先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。
- 申込期間後も定員に余裕がある場合は、受け付けますのでお問合せください。

- ※定員に満たない場合は、開講できないことがあります。
- ※講師の緊急な都合などにより日程等を変更する場合があります。



FAXまたは郵送でお申し込みの方は

この用紙裏の「受講申し込み書」にご記入の上、FAXまたは郵送してください

ホームページからお申し込みの方は

<http://www.ku-portsquare.jp>

■会場のご案内■

神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター
＜KUポートスクエア＞

〒220-6014 横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 14階
【交通】みなとみらい線 みなとみらい駅下車 徒歩約2分
JR根岸線・市営地下鉄 桜木町駅下車 徒歩約7分

KU 神奈川大学

■お問い合わせ先 ■生涯学習・エクステンション講座係
KUポートスクエア TEL: 045-682-5553 FAX: 045-682-5554
広報事業課 TEL: 045-481-5661(代表)